

スキトレ企画書

作成日：令和5年 7月 8日

校名：筑紫神社前校

企画者：山口

活動名：転がしドッチボール	
本活動の着眼点	
低学年の児童でも参加できるアクティブな活動を考え立案	
生活上の困り感 (実施者に確認して頂きたい内容)	目的・趣旨(OT的視点)
<ul style="list-style-type: none">・集団活動になかなか参加できない・距離感がつかめず人・物にぶつかる・約束事をすぐに破る・動きに不器用さがある・うまくいかないと癩癩を起す	<ul style="list-style-type: none">・仲間と協力する・空間把握能力を育む・ルールを守る・目と手の協応・気持ちを切り替える
作業の特色	
<ul style="list-style-type: none">・低学年～高学年の児童まで分け隔てなく参加できる・ボールを投げないため、ケガをするリスクが少ない・お友達との連携が必要なため、協力することの重要性を学ぶことができる。	
活動の概要(実施者に確認して頂きたい内容)	
【場所】 近くの公園 【所要時間】 約10分～20分程度 (1試合何分で実施するかによって変動) 【人数】 10人程度	【対象者】 ・低学年～高学年 【必要な道具】 ・大きめのやわらかいボール (スポーツボール) ・ホイッスル(スタッフ用) ・サークルを描くための棒
活動の進め方	
【進行方法・ルール】 1) 活動の物品準備 2) 活動の声かけ 3) 玄関に児童が集まったら、公園に向かう 4) 公園に着いたら他の公園利用者の邪魔にならない場所にサークルを描く 5) 準備ができたならチーム分けを行う ※事前に決めてもOK 6) ケガをしないために準備運動を行う 7) 活動開始	

スキトレ企画書

進行方法は下記内容にて行う

- ①各チームで外野を一人決めてもらう。
- ②お互いのチームの外野にじゃんけんをしてもらう。
- ③じゃんけんに勝ったチームの外野にボールを渡してゲームを開始する
- ④最初に当てられた人は同じチームの外野と入れ替わり、外野がコート内に入る
- ⑤その後当てられた人は外野に移動する
- ⑥制限時間までにコート内の人に当てる、もしくは時間切れの場合最後にコート内に残った人数が多い方が勝ち。

【進行上の留意点】

- ・終盤では外野の人数が増え、ボールを持つ児童がワンパターン化する可能性があるため、スタッフが他の児童にもボールを渡すように声かけする。
- ・転がさずにボールを投げる児童がいた場合は、転がすルールだと再度伝える
- ・ボールを蹴らないように事前説明をする

【役割：進行・補助・+α】※ケガする可能性を考慮し、3名以上での見守りが好ましい

進行・審判：スタッフ①

見守り：スタッフ②③

スタッフの着目点

- ・児童同士で衝突がないか
- ・外野からボールを転がす児童が毎回同じでないか
- ・ボールを投げようとしていないか

活動を行う上での注意点

- ・ケガのリスクがあるため、スタッフはすぐに動ける場所で見守りを行う
- ・近くに公園利用者がいないか確認をする

予算

- ・スポーツボール(ダイソー110円)
- ・スポーツホイッスル(ダイソー110円)

計 220 円

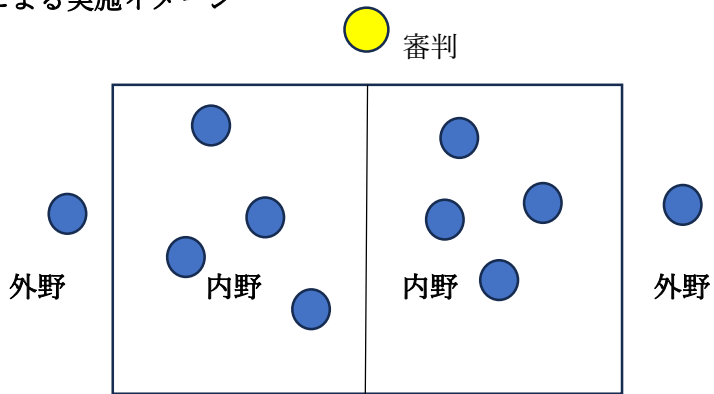
苦手意識のある児童への配慮点

- ・参加したくない場合は審判やスタッフの補助に入ってもらおう。
- ・ボールをうまく転がせるか不安な児童にはスタッフが付いて一緒に転がす。

その他

スキトレ企画書

図による実施イメージ



投げ方

